

# 日本図書館情報学会会報

No. 162

2016年6月

日本図書館情報学会事務局

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1

明治大学 司書課程・司書教諭課程室内

(事務局業務に関する問合せ先)

〒166-8532 東京都杉並区和田 3-30-22 大学生協学会支援センター内

日本図書館情報学会

E-mail : office@jslis.jp 学会ホームページ : <http://www.jslis.jp/>

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

## 名誉会員・岩猿敏生氏のご逝去を悼む

会長 小田 光宏

本年4月9日、名誉会員・岩猿敏生氏のご逝去されました。97歳でした。哀悼の意をもって、ここに報告いたします。

岩猿敏生氏は、本学会の役員を長年にわたりお務めになり、貢献多大なるものがあります。本学会は、海後宗臣氏を初代会長として1953年に発足しましたが、その創設間もない1957年に、現在の理事に相当する幹事（1972年に評議員と改称）に就かれ、1982年度まで12期にわたり任を続けられました。その後、1983年度から1986年度まで副会長として、1987年度から1995年度まで会長として、本学会の活動を牽引されました。1980年代から1990年代は、本学会の発展・展開期にあたるとも考えられ、先頭に立って様々な基盤整備を進められたことは、会誌ならびに会報から知ることができます。また、会長職を退かれた後も、名誉会員として、今日まで本学会の精神的な支えとなっていました。

今後は、岩猿敏生氏の本学会に対するご尽力の成果を、さらに豊かなものにするよう、会員のみならず、力尽くしたいと念じております。こうした感謝の気持ちと決意を示して、心から、ご冥福をお祈り申し上げます。

## 定例（通信）総会の実施にあたって

会長 小田 光宏

2016年度の定例（通信）総会を、ここに実施いたします。今回お示しする議案は、五つとなります。いずれの議案も、本学会の運営上重要なものとなります。ご確認ならびにご検討をお願いいたします。

第一号議案と第二号議案は、2015年度の事業報告と決算報告・会計監査報告をおはかりするものです。第一号議案に関しては、2015年度の事業計画において、事業内容となる項目を体系化したことに基づき、事業報告もそれに合わせた形式にしています。2014年度までの事業報告とは異なる示し方となりますので、ご注意ください。また、第二号議案策定の背景として、特にお伝えすべきと心得ているのは、前年度に改善を試みた会計監査の方法です。理事会・常任理事会では、その試行方法が妥当であると判断し、2015年度の会計監査にあたっては、試行の成果を明文化した監査マニュアルを確定させ、それに沿った作業を監事にお願ひしました。

第三号議案と第四号議案は、2016年度の事業計画案と予算案になります。第三号議案に関しては、全体にわたり、事業や趣旨を大きく変えたところはありませんが、内容面で前進させたものは、図書館情報学教育に資する事業です。これに関しては、検討段階から実施段階に進めることを目指します。一方、第四号議案でご確認いただきたいのは、多くの項目に関して支出の抑制を図ったことです。これは、3年に一度実施される選挙管理運営経費を除いても、繰越金額（予備費）が、60万円前後の規模で毎年減少しつつあることを懸念しての措置です。理事会・常任理事会では、支出面での対応だけでなく、収入面での措置がいずれ必要になることを予測していることから、今後、慎重かつ迅速に方策を検討して参ります。

第五号議案は、2015年度に改正をご承認いただいた学会規約に基づき、「日本図書館情報学会選挙管理運営規程」の改正を行う提案です。2016年度は、現役員任期の最終年度であり、秋以降に次期の役員選挙を実施する予定となっています。そこで、現行の学会規約との整合性を図るために、この規程の改正案を提示いたします。本学会では、一般的な規程は理事会において、内規は常任理事会において、承認手続が取られます。しかし、「日本図書館情報学会選挙管理運営規程」は、会員の権利である役員選挙が公正に行われるために、その改正は総会での議決対象となっています。なお、この規程とは別に、理事会・常任理事会では、規程・内規類の制定・整備を進めて参りました。それらについては、ホームページ上に逐次公開していますので、適宜、ご参照ください。

以上、定例総会を実施するにあたり、会長として議案の要点と関連する背景事情を記しました。会員のみなさまには、各議案を慎重にご審議いただくとともに、本学会の運営に対して、忌憚のないご意見ならびにご助言をたまわりますよう、お願い申し上げます。

## 2016年度定例（通信）総会

正会員各位

会長 小田 光宏

2016年度定例（通信）総会として、以下の議案の可否につきまして、投票用紙（着払いはがき）または電子投票のいずれかの方法にて投票をお願いいたします。投票方法の詳細については、同封の案内をご覧ください（総会は正会員によって構成されるため、名誉会員、学生会員、施設会員、賛助会員の皆様には、案内は同封しておりません）。

記

投票期日：2016年6月30日（木）（郵送は当日消印有効、電子投票は23:59まで有効）

議 題： 第一号議案 2015年度事業報告

第二号議案 2015年度決算報告・会計監査報告

第三号議案 2016年度事業計画案

第四号議案 2016年度予算案  
第五号議案 規程の一部改正案

第一号議案 2015年度事業報告

**1. 運営事業**

(1) 定例（通信）総会の開催

投票締切日を2015年6月末日として定例（通信）総会を実施し、全議案は成立した。投票は郵送及び電子投票によった。

(2) 理事会・常任理事会の開催

会務執行のため、以下のように開催した。

1) 理事会

第1回 2015年5月23日（土）明治大学（東京都千代田区）

第2回 2015年10月10日（土）明治大学（東京都千代田区）

2) 常任理事会

第1回 2015年5月1日（金）明治大学（東京都千代田区）

第2回 2015年7月19日（日）明治大学（東京都千代田区）

第3回 2015年9月26日（土）明治大学（東京都千代田区）

第4回 2015年11月21日（土）明治大学（東京都千代田区）

第5回 2016年1月31日（日）明治大学（東京都千代田区）

(3) 会員集会の開催

正会員・学生会員からの意見を聴く機会として、2015年10月18日（日）に学習院女子大学（東京都新宿区）を会場として会員集会を開催した。

(4) 規約・規程・内規の改正・整備

学会運営の効率化のために規約を改正した。また、学会運営の透明性を高めるために規程ならびに内規の整備を進めた。

(5) 監査に関する手続きの整備

監査に関する手続きを明確化し、内規とマニュアルを整備した。

(6) 特別会計の処理

特別会計を廃止し、残額を一般会計に組み入れた。

(7) 委員会・ワーキンググループの開催

1) 学会賞選考委員会

第1回 2015年7月31日（金）慶應義塾大学（東京都港区）委員3名全員出席

第2回 2015年9月10日（木）慶應義塾大学（東京都港区）委員4名全員出席

第3回 2015年12月28日（月）慶應義塾大学（東京都港区）委員4名全員出席

2) 編集委員会

第1回 2015年5月22日（金）明治大学（東京都千代田区）委員9名中7名出席

3) 研究委員会

第1回 2015年6月27日（土）筑波大学（東京都文京区）委員10名中7名出席

第2回 2016年2月6日（土）筑波大学（東京都文京区）委員10名全員出席

4) 総務委員会

案件が生じる度に、随時、メールによる審議を行なった。

## 5) 学会サイトワーキンググループ

第1回 2015年7月14日(火) 亜細亜大学(東京都武蔵野市) 委員5名全員出席

第2回 2016年2月20日(土) 白百合女子大学(東京都調布市) 委員5名中4名出席

## (8) 図書館情報学教育に資する事業の再検討

常任理事会にて、図書館情報学教育に資する事業のあり方について再検討を行い、翌年度以降の実施体制と方針(案)を策定した。

## (9) 会報の発行

『日本図書館情報学会会報』No.157(2015年4月), No.158(同年6月), No.159(同年10月), No.160(2016年2月)を発行した(印刷版郵送・PDF版メール配信)。

## (10) 学会広報の推進

学会ウェブサイトの管理・更新(会報・メルマガの掲載を含む), メールマガジンの発行などを進めた。

## (11) 学会サイトの見直し

課題を洗い出し、見直しの参考にするため、会員に対しウェブフォームを通じたアンケート調査を実施した。また、他の学会サイトの状況を調査した。学会サイト運営のためのCMS候補を検討した。

## (12) 事務局業務の一部委託

2014年度に引き続き、会員管理、会費管理、発送業務等、事務局業務の一部を大学生協学会支援センターに委託した。

## (13) ウェブを通じた入会申請、会員情報変更届

ウェブ上の申請フォームから入会申請、会員情報変更届の提出をできるようにした。

## 2. 研究促進事業

### (1) 第63回研究大会の開催

第63回日本図書館情報学会研究大会を2015年10月17日(土), 18日(日)に学習院女子大学(東京都新宿区)にて開催した。研究発表は21件で、当日の参加者は176名であった。

### (2) 2015年度春季研究集会の開催

2015年度春季研究集会を2015年5月30日(土)に京都ノートルダム女子大学(京都府京都市)にて開催した。研究発表は17件で、当日の参加者は114名であった。

### (3) 研究大会におけるシンポジウム開催

研究大会2日目午後、研究委員会の企画によって「情報資源組織化が切り拓く未来: RDA, 新NCR, BIBFRAME, Linked Dataがもたらすもの」と題してシンポジウムを開催した。

### (4) 研究助成の募集・交付

図書館情報学振興のために、会員が個人として計画した研究3件に対し、研究遂行ならびにその結果のとりまとめに要する経費の一部を助成した。

1) 木村麻衣子(学習院女子大学(非常勤))「非ローマ字言語の表記に対応した著者名典拠データフォーマットの開発」

2) 庭井史絵(慶應義塾普通部/青山学院大学大学院)「教科における調べ学習の過程で必要とされる知識・技能とその指導: 教科教員と学校図書館員の役割分担に着目して」

3) 和気尚美(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程)「デンマーク国立統合図書館センターによる移民を対象とした多言語ポータルサイトの運営に関する研究」

なお、2012 年度に研究助成を交付した者については研究助成の要件（研究終了後 3 年以内の学会誌への投稿）を満たしているかどうかを調査し必要に応じて対応した。

### 3. 刊行事業

#### (1) 『日本図書館情報学会誌』の発行

『日本図書館情報学会誌』第 61 巻第 2 号（2015 年 6 月），同第 3 号（同年 9 月），同第 4 号（同年 12 月），第 62 巻第 1 号（2016 年 3 月）を発行した。

#### (2) 『日本図書館情報学会誌』の電子版の提供

CiNii を通じて、『日本図書館情報学会誌』掲載論文の電子版を，会員には無料で，一般には有料（3 年以前は無料）で提供した。

#### (3) 『日本図書館情報学会誌』電子版提供方法の変更

2015 年度末で国立情報学研究所電子図書館事業（NII-ELS）が終了することに伴い、『日本図書館情報学会誌』電子版の今後の提供方法について検討し，第 62 巻 2 号（2016 年 6 月）より JST（科学技術振興機構）が提供する J-STAGE を利用して電子版を提供することを決定した。提供に際しては，刊行後 1 年の公開猶予期間を設けることとした。なお，これまで CiNii を通じて提供されてきた『日本図書館情報学会誌』電子版のデータを J-STAGE に移行することも同時に決定した。

#### (4) 「わかる！図書館情報学」シリーズの編集・刊行

第 2 巻『情報の評価とコレクション形成』の編集を進め，刊行した。また，第 3 巻『メタデータとウェブサービス』の企画を進めた。

### 4. 表彰事業

#### (1) 日本図書館情報学会 学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与

1) 「日本図書館情報学会賞」は対象者なしとした。

2) 「日本図書館情報学会論文賞」は次の論文に授与した。

高嶽裕樹「米国財務省内国歳入庁による図書館記録調査（1970 年）：図書館記録の秘密性との関わりを中心にして」『日本図書館情報学会誌』第 60 巻第 2 号（2014 年 6 月），p.61-77.

3) 「日本図書館情報学会奨励賞」は次の個人会員に授与した。

橋本磨美「1990 年代前半におけるアメリカ連邦政府の図書館政策の展開：LSCA から LSTA への改正を中心に」『日本図書館情報学会誌』第 61 巻第 1 号（2015 年 3 月），p.1-17.

#### (2) 優秀発表賞の選考・授与

2015 年度春季研究集会および第 63 回研究大会における登壇発表者に対して，優秀発表賞の選考を行い研究委員会内で研究内容・発表技法という観点から審議した結果，以下の発表に授与した。

##### 1) 2015 年度春季研究集会

安形輝（亜細亜大学）「公立図書館の資料選択に影響する要因：2007 年の出版物の所蔵調査に基づく分析」

##### 2) 第 63 回研究大会

汐崎順子（慶應義塾大学（非常勤））「文庫の読書記録にみる子どもの読書の実態」

#### (3) 学会活動貢献賞の選考・授与

本学会の運営，事業，会員サービスの向上等に関して，その功績が顕著であると認められる次の個人会員に「学会活動貢献賞」を授与した。

・今井福司（白百合女子大学）

授賞理由：日本図書館情報学会ウェブサイトの運営管理をはじめとする積年にわたる学会活動への貢献による。

## 5. 連携・協力事業

### (1) 他機関との連携・協力の推進

図書館情報学の研究推進に資するよう、関係機関・諸団体との連携・協力を進めた。

### (2) 国際的研究活動の支援

図書館情報学関連の国際会議情報を、学会のメールマガジンに積極的に掲載した。

## 第二号議案 2015年度決算報告・会計監査報告

### 1. 2015年度決算報告

#### 【一般会計】

(収入の部)

項目	予算(円)	決算(円)	備考
1 会費			
正会員	3,555,000	3,725,500	5,000円×736件+45,500円(不足分入金)
学生会員	162,000	138,000	2,000円×69件
団体会員	720,000	678,750	15,000円×44件+3,750円(納品分)+15,000円(銀行分)
賛助会員	200,000	200,000	50,000円×4件
入会金	—	22,000	1,000円×22件
2 広告料	315,000	283,000	30,000円×7件, 25,000円×2件, 23,000円×1件
3 学会誌売上金	1,806,000	1,635,900	年間購読 133機関×8,400円+早川書店 33,600円 個別契約 231冊×2,100円
4 印税	180,000	272,922	『用語辞典』第4版 84,309円 「わかる!図書館情報学」シリーズ第1巻 188,613円
5 春季研究集会収入	200,000	226,000	開催校補助 100,000円, 参加費収入 125,000円, 論文集 売上(当日分) 1,000円
6 雑収入	10,500	10,843	著作権使用料 8,839円, 論文集売上 1,000円, 利息 504 円, その他 500円
7 特別会計から繰入	400,061	400,098	繰入 400,061円+利息 37円
8 前年度繰越金	5,138,693	5,138,693	
合計	12,687,254	12,731,706	

(支出の部)

項目	予算(円)	決算(円)	備考
1 運営事業費			
理事会・常任理事会 開催費	678,000	660,178	交通費:理事会 296,754 交通費:常任理事会 290,470 会議費:理事会 29,840

会計監査実施費	44,500	54,340	会議費:常任理事会	43,114
			交通費	49,500
			会議費	4,840
委員会開催費				
研究委員会	110,500	72,720	交通費	72,000
			通信費	720
編集委員会	150,000	135,627	交通費	20,000
			通信費	12,836
			書籍費	67,371
			査読謝礼	21,000
			会議費	14,420
学会賞選考委員会	37,500	29,720	交通費	27,500
			会議費	2,220
総務委員会	20,000	9,051	交通費	0
			サーバレンタル費	9,051
学会ウェブサイト 見直しWG	30,000	22,500	交通費	22,500
			会議費	0
会報発行費	672,000	579,595	印刷費	249,525
			発送費	273,394
			封筒作成費	56,676
事務局運営費	1,420,000	1,237,155	消耗品費	3,249
			印刷費:コピー	10,000
			印刷費:振込用紙印刷費	40,419
			郵便費	18,031
			発送費:大学生協から会員宛	48,475
			事務局職員通勤手当	21,960
			事務局職員賃金	79,325
			振込手数料	13,500
			会費徴収手数料	74,836
			備品費	0
(内 業務委託費)	(内 900,000)	(内 927,360)	業務委託費:大学生協	927,360
2 研究促進事業費				
研究大会開催費	504,500	293,420	案内発送費	93,420
			会場校会長挨拶交通費	0
			事務局支援拠出金+参加費補助 (400,000円)－会場校補助金(200,000 円)	200,000
			その他	0
研究大会シンポジウム 開催費	11,500	0	非会員パネリスト交通費	0
			非会員パネリスト謝礼	0
春季研究会開催費	344,500	310,994	消耗品費	10,509

			印刷費:発表論文集印刷	125,820
			通信費	2,780
			交通費:会場校会長挨拶交通費	3,700
			会議費:茶菓, 弁当	16,885
			人件費:アルバイト代	87,050
			その他:光熱費	61,750
			その他:会場校会長挨拶手土産代	2,500
研究助成費	820,000	820,000	研究助成金	820,000
3 刊行事業費				
学会誌発行費	2,228,000	3,142,580	印刷費	2,729,658
			発送費	338,587
			封筒作成費	74,335
4 表彰事業費				
学会賞等副賞	418,500	218,500	副賞	200,000
・賞状作成費			賞状	18,500
学会活動貢献賞副賞	106,000	106,500	副賞	100,000
・賞状作成費			賞状	6,500
5 予備費	5,091,754	0		
合計	12,687,254	7,692,880		
次年度繰越金		5,038,826		

### 【特別会計】

(収入の部)

項目	予算(円)	決算(円)
1 前年度繰越金	400,277	400,277
2 雑収入		37
合計	400,277	400,314

(支出の部)

項目	予算(円)	決算(円)
1 一般会計へ繰り入れ	400,061	400,098
2 通信費		
振込手数料	216	216
合計	400,277	400,314

## 2. 会計監査報告

会計監査の結果、事務処理、帳簿記入は正確に行われていたことを報告いたします。

学会賞選考委員会で図書購入・ILLした場合は、今後は事務局費ではなく委員会の費用として計上してください。他の委員会でも同様の扱いとして下さい。

2016年 5 月 7 日 監事 三輪眞木子 (印)

2016年 5 月 7 日 監事 渡辺 信一 (印)

### 第三号議案 2016年度事業計画案

#### 1. 運営事業

##### (1) 定例 (通信) 総会の開催

投票締切日を 2016 年 6 月末日として定例 (通信) 総会を実施する。投票は郵送及び電子投票による。

##### (2) 理事会・常任理事会の開催

下記の予定で、理事会・常任理事会を開催する。

###### 1) 理事会

第 1 回 2016 年 5 月 14 日 (土) 明治大学 (東京都千代田区)

第 2 回 2016 年 10 月 30 日 (日) 明治大学 (東京都千代田区)

###### 2) 常任理事会

第 1 回 2016 年 4 月 17 日 (日) 明治大学 (東京都千代田区)

第 2 回 2016 年 7 月 9 日 (土) 明治大学 (東京都千代田区)

第 3 回 2016 年 10 月 8 日 (土) 明治大学 (東京都千代田区)

第 4 回 2016 年 12 月 3 日 (土) 明治大学 (東京都千代田区)

第 5 回 2017 年 1 月 29 日 (日) 明治大学 (東京都千代田区)

##### (3) 会員集会の開催

正会員・学生会員からの意見を聴く機会として、2016 年 11 月 13 日 (日) に天理大学 (奈良県天理市) を会場として会員集会を開催する。

##### (4) 規程・内規等の改正・整備

学会運営の効率化と透明性を高めるために、2015 年度に引き続き、規程ならびに内規の整備を進める。

##### (5) 委員会の開催

下記の予定で、委員会・ワーキンググループを開催する。また、メールにより随時、審議を行なう。

1) 学会賞選考委員会 3 回

2) 編集委員会 1 回

3) 研究委員会 2 回

4) 総務委員会 1 回

5) 学会サイトワーキンググループ 2 回 遠隔会議 (スカイプ等) による

6) 図書館情報学教育に資するワーキンググループ 4 回

##### (6) 図書館情報学教育に資する事業の計画策定・遂行

図書館情報学教育に資する事業についてワーキンググループを組織し、事業の実施計画を策定・遂行する。

##### (7) 会報の発行

『日本図書館情報学会会報』No.161 (2016 年 4 月), No.162 (同年 6 月), No.163 (同年 10 月), No.164 (2017 年 2 月) を発行する (印刷版郵送・PDF 版メール配信)。

##### (8) 学会広報の推進

学会ウェブサイトの管理・更新 (会報・メルマガの掲載を含む), メールマガジンの発行などを進

める。

(9) 学会サイトの見直し

2015年度に引き続き、学会サイトの構造を分析し、各種委員会活動、広報活動における課題を洗い出す。また、CMSの試行を行い、導入したさいの管理運営体制について検討する。

(10) 事務局業務の一部委託

会員管理、会費管理、発送業務等、事務局業務の一部を大学生協学会支援センターに委託する。

(11) 学会活動への貢献に対する感謝状の贈呈

本学会の運営、事業、会員サービスの向上等に関して、その功績が顕著であると認められる個人会員に、感謝状を贈呈する。

(12) 役員選挙の実施

2017-2019年度の役員選出のための選挙を実施する。

## 2. 研究促進事業

(1) 第64回研究大会の開催

第64回日本図書館情報学会研究大会を2016年11月12日（土）、13日（日）に天理大学（奈良県天理市）にて開催する。

(2) 研究大会におけるシンポジウム開催

第64回研究大会2日目午後「学校図書館への研究アプローチ（仮題）」をテーマに、一般公開によるシンポジウムを開催する。

(3) 2016年度春季研究集会の開催

2016年度春季研究集会を2016年5月28日（土）に白百合女子大学（東京都調布市）にて開催する。

(4) 研究助成の募集・交付

図書館情報学振興のために、会員が個人として計画した研究に対し、研究の遂行ならびにその結果のとりまとめに要する経費の一部を助成する。

## 3. 刊行事業

(1) 『日本図書館情報学会誌』の発行

『日本図書館情報学会誌』第62巻第2号（2016年6月）、同第3号（同年9月）、同第4号（同年12月）、第63巻第1号（2017年3月）を発行する。

(2) 『日本図書館情報学会誌』電子版の提供

『日本図書館情報学会誌』電子版について、第62巻第2号（2016年6月）より、J-STAGEを通じて提供する。公開猶予期間内における提供システム（会員への無料提供、非会員への有料提供）を確立する。2016年度現在、国立情報学研究所がNII-ELSで提供している当会誌電子版データをJ-STAGEに移行し、引き続き提供する。

(3) 「わかる！図書館情報学」シリーズの編集・刊行

第3巻『メタデータとウェブサービス』の編集を進め、刊行する。また、第4巻『学校図書館への研究アプローチ（仮題）』の企画を進める。

## 4. 表彰事業

(1) 日本図書館情報学会 学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与

2014年度もしくは2015年度に特別に優れた業績を上げた正会員を対象として「日本図書館情報学会賞」を授与する。『日本図書館情報学会誌』第61巻第2号から第62巻第1号までに掲載された論文を対象として「日本図書館情報学会論文賞」を授与する。若手研究者である個人会員および学生会員を対象に、『日本図書館情報学会誌』第61巻第2号から第62巻第1号までに論文を発表した者を中心に選考を行い「日本図書館情報学会奨励賞」を授与する。

(2) 優秀発表賞の選考・授与

2016年度春季研究集会及び第64回日本図書館情報学会研究大会において優れた口頭発表を行なった個人会員に「優秀発表賞」を授与する。

5. 連携・協力事業

(1) 他機関との連携・協力の推進

図書館情報学の研究推進に資するよう、関係機関・諸団体との連携・協力を進める。

(2) 国際的研究活動の支援

図書館情報学関連の国際会議情報等を、学会のメールマガジンに積極的に掲載する。

第四号議案 2016年度予算案

(収入の部)

項目	予算(円)	備考	
1 会費			
正会員	3,655,000	現会員 662人×5,000円+未納分 31件×5,000円+19件×5,000円×2	
学生会員	132,000	現会員 59人×2,000円+未納分 7件×2,000円	
団体会員	645,000	現会員 41機関×15,000円+未納分 2件×15,000円	
賛助会員	100,000	現会員 2機関×50,000円	
2 広告料	285,000	30,000円×7件, 25,000円×3件	
3 学会誌売上金	1,633,800	定期購読 12,000円×0.7×137セット	1,150,800
		個別購読 3,000円×0.7×230部	483,000
4 印税	234,000	「わかる！図書館情報学」シリーズ第1巻 1,800円×100部×0.1	18,000
		「わかる！図書館情報学」シリーズ第2巻 1,800円×1,200部×0.1	216,000
5 春季研究集会 収入	239,000	2016年度春季研究集会収入：正 2,000円×100人+学 1,000円×5人+非 3,000円×8人	229,000
		発表論文集収入：2,000円×5冊	10,000
6 雑収入	10,500	著作権使用料他	10,000
		利息	500
7 前年度繰越金	5,038,826		
合計	11,973,126		

## (支出の部)

項目	予算(円)	備考	
1 運営事業費			
理事会・常任理事会 開催費	605,400	交通費:理事会 第1回 57,700円(3人分), 第2回 85,700円 (4人分)	143,400
		交通費:常任理事会 50,000円(1人分)×5回	250,000
		会議費	0
		宿泊費:常任理事会(12,000円×1人)×3回	36,000
		日当:理事会(2,000円×24人)×2回	96,000
		日当:常任理事会(2,000円×8人)×5回	80,000
会計監査実施費	47,000	交通費	27,000
		宿泊費	12,000
		日当:2,000円×4人	8,000
		会議費	0
委員会開催費			
研究委員会	99,900	交通費:29,200円(3人分)×2回	58,400
		日当:(2,000円×10人)×2回	40,000
		通信費	1,500
編集委員会	154,200	交通費:4人分	33,200
		日当:(2,000円×9人)×1回	18,000
		通信費	13,000
		会議費	0
		消耗品費	70,000
		非会員査読謝礼	20,000
学会賞選考委員 会	35,000	交通費	3,000
		日当:(2,000円×3人×1回)+(2,000円×4人×2回)	22,000
		消耗品費	10,000
総務委員会	22,000	交通費:2人分	2,000
		日当:(2,000円×5人)×1回	10,000
		会議費	0
		サーバレンタル費	10,000
学会ウェブサイト 見直しWG	20,000	日当:(2,000円×5人)×2回	20,000
図書館情報学教育 に資する事業WG	210,800	交通費:中部(25,000円×4回)+つくば(2,700円×4回)+福岡 (50,000円×1回)(他会議と抱合せ)	160,800
		日当:(2,000円×5人)×4回	40,000

選挙管理運営委員会	375,108	調査費	10,000		
		交通費:3,400円(3人分)×4回	13,600		
		日当:(2,000円×5人)×4回+2,000円	42,000		
		会議費:(1,800円×5人)×1回	9,000		
		消耗品費	2,000		
		発送費:切手代	8,500		
		業務委託料:封筒・文書印刷料(1回・2回分)	160,724		
		業務委託料:発送費(1回・2回分)	139,284		
		会報発行費	610,000	印刷費:No.161,163,164(50,000円×3号)+No.162 100,000円	250,000
				発送費:75,000円×4回	300,000
		事務局運営費	1,384,500	封筒作成費:15,000円×4回	60,000
				消耗品費	10,000
				印刷費:会議資料コピー 10,000円 振込用紙印刷費 45,000円	55,000
				郵便費	25,000
発送費:大学生協から会員宛	50,000				
事務局職員通勤手当	18,000				
事務局職員賃金	80,000				
業務委託費:大学生協学会支援センター	1,040,000				
振込手数料	20,000				
会費徴収手数料	80,000				
		感謝状作成費	6,500		
		備品費	0		
2					
研究促進事業費					
研究大会開催費	354,000	案内発送費	100,000		
		会場校会長挨拶交通費	50,000		
		事務局支援拠出金	200,000		
		その他:会場校挨拶手土産等	4,000		
研究大会シンポジウム開催費	70,000	シンポジウムコーディネーター打ち合わせ交通費	30,000		
		非会員パネリスト交通費	30,000		
		非会員パネリスト謝礼	10,000		
春季研究集会開催費	343,500	消耗品費	10,000		
		印刷費:発表論文集印刷	130,000		
		通信費	2,000		
		交通費:会場校会長挨拶交通費	1,500		
		会議費:茶菓, 弁当	15,000		
		人件費:アルバイト代	150,000		
		その他:会場借料 会場校挨拶手土産等	35,000		
研究助成費	300,000	研究助成金	300,000		

3	刊行事業費 学会誌発行費	2,961,600	印刷費:62(2)-63(1)(600,000 円×4 号) 発送費:90,000 円×4 回 封筒作成費:18,000 円×4 回 J-STAGE 掲載費 3,240 円×40 本	2,400,000 360,000 72,000 129,600
4	表彰事業費 学会賞等賞金 ・賞状作成費	318,500	賞金 (学会賞 20 万円, 論文賞 5 万円, 奨励賞 5 万円) 賞状	300,000 18,500
5	予備費	4,061,618		
	合計	11,973,126		

### 第五号議案 規程の一部改正案

#### 日本図書館情報学会選挙管理運営規程の一部改正案

常任理事会

#### 改正の趣旨

下記の条項に対し、それぞれの事由により、日本図書館情報学会選挙管理運営規程を改正することを提案いたします。

#### (1) 第 1 条

この条項は、当規程の目的と範囲を示すものです。現行規程では、役員の選出しか明記されていませんが、日本図書館情報学会規約の改正により、「役員の欠員補充に関する規程は、別に定める」という条項が加わりました。ここではそれを受けて「欠員補充」に関しても追加しています。さらに規程の根拠となる日本図書館情報学会規約の条項を明記しています。

#### (2) 第 3 条 3 項

この条項は、選挙管理運営委員の委員長と委員に関する規定です。現行では、2 項で委員長が正会員から選ばれるという規定はありますが、委員については定めがありません。しかし、これまで慣習として委員も正会員から選ばれていましたので、3 項においても 2 項と同様に「正会員中から」の文言を追加します。

#### (3) 第 8 条

選挙の結果の通知と承諾書への署名の要請を選挙管理運営委員長が行うとなっていますが、この手続きは委員長というよりは選挙管理運営委員会が行うことです。そこで、これを「選挙管理運営委員会」と修正します。

#### (4) 第 10 条

第 8 条と同様に、選挙結果の報告は選挙管理運営委員会として行うものですので、これを「選挙管理

運営委員会」と修正します。

(5) 付則

最終付則は、規程の施行年月日を示しています。定例総会での承認が得られた翌日である 2016 年 7 月 1 日を施行日とします。

以上

現行（最終改正：1998 年 10 月 1 日） 変更がない条文は省略	改正後（最終改正：2016 年 7 月 1 日） 変更がない条文は省略
第 1 条 <u>日本図書館情報学会役員</u> の選出は、この規程により行う。	第 1 条 <u>本規程は、日本図書館情報学会規約第 9 条 9 項および第 10 条 3 項に基づき、日本図書館情報学会役員</u> の選出と欠員補充における選挙管理運営に関して定めることを目的とする。
第 3 条 1 から 2 略  3 委員は委員長が <u>推薦</u> し、常任理事会の承認を得る。  4 から 5 略	第 3 条 1 から 2 略  3 委員は委員長が <u>正会員中から推薦</u> し、常任理事会の承認を得る。  4 から 5 略
第 8 条 <u>選挙管理運営委員長</u> は、前条に定める選挙の結果を当選者に通知し、就任承諾書への署名を要請する。	第 8 条 <u>選挙管理運営委員会</u> は、前条に定める選挙の結果を当選者に通知し、就任承諾書への署名を要請する。
第 10 条 <u>選挙管理運営委員長</u> は、選挙の結果を常任理事会に報告する。	第 10 条 <u>選挙管理運営委員会</u> は、選挙の結果を常任理事会に報告する。
付則 1 から 4 略	付則 1 から 4 略  <u>5 この規程は、2016 年 7 月 1 日から施行する。</u>

## 第 64 回研究大会のご案内

研究委員会／第 64 回研究大会事務局

第 64 回日本図書館情報学会研究大会を下記のとおり開催いたします。

### 開催要領

日 程： 2016 年 11 月 12 日（土）、13 日（日）

会 場： 天理大学 杉之内キャンパス 2 号棟

事務局： 〒632-8510

奈良県天理市杉之内町 1050 天理大学 総合教育研究センター

山中秀夫研究室内 第 64 回日本図書館情報学会研究大会事務局  
Tel: 0743-63-7125 (研究室直通)  
E-mail: tnr2016@sta.tenri-u.ac.jp

参加費 (予定): 正会員 4,000 円, 学生会員 1,000 円, 非会員 6,000 円  
懇親会費 (予定): 5,000 円

#### 宿泊案内

研究大会事務局では宿舍の斡旋はいたしませんので、ご了承ください。なお、開催日前後は観光シーズンのため、奈良市内を中心に早めに宿泊の手配をする必要があります。

#### プログラム (予定)

11月12日(土)		11月13日(日)	
12:30-13:00	受付	9:00-9:30	受付
13:00-13:15	開会式	9:30-12:00	研究発表
13:30-17:00	研究発表	12:00-13:00	昼食
17:30-19:00	懇親会	13:00-14:00	会員集会
		14:00-16:50	シンポジウム
		16:50-17:00	閉会式

- ・ 大会 2 日目の午後には「会員集会」を開催いたしますので、ぜひご参加ください。
- ・ 大会 2 日目のシンポジウムについては、「学校図書館への研究アプローチ」をテーマとして開催予定です。シンポジウムは一般公開といたしますので、研究大会参加者以外の方でも無料で参加することができます。

#### ■ 発表募集要領

- (1) 応募資格：日本図書館情報学会の正会員および学生会員（共同発表の場合、筆頭発表者が正会員または学生会員であること）  
研究発表の申込は、申込時点で正会員・学生会員である者に限ります。すなわち入会が承認されていない場合は、研究発表の申込はできません。未入会の方は、発表申込締切前の入会申込締切日となる 8 月 20 日（土）までに入会申込を行い、入会の承認通知が届いた後に、発表の申込をしてください。
- (2) 発表時間：1 件 30 分（発表時間 20 分、質疑応答 10 分）
- (3) 発表言語：日本語もしくは英語であること。どちらの言語の場合も、申込、発表論文、発表、記録まで同一言語とすることを条件とします。英語での発表も受け付けますが、多くの聴衆が日本語での発表を期待している現状に鑑み、基本的には日本語での発表が望ましいと考えます。  
申込方法：学会ウェブサイトから発表申込申請フォームにアクセスの上、お申し込みください。なお、受理された申込書は ウェブサイトで公開する予定です。あらかじめご承知おきください。
- (4) 申込締切：9 月 12 日（月）24 時必着  
申し込み直後に申込みを受け付けた旨のメールを差し上げます（受理の連絡はまた別途行います）。申し込んだにもかかわらずメールがない場合、トラブルの可能性があるので、研究委員会

(kenkyu@jslis.jp) までにご連絡ください。

(5) 発表論文の提出：発表することが決まった場合には、A4 判で 4 枚の発表論文を作成し、10 月 12 日（水）までに原稿を研究委員会ウェブサイトを送っていただきます。なお、発表論文提出の締切日は前後することがありますのでご了解ください。発表論文の作成方法などに関しては、発表申込受理者にご連絡いたします。

(6) 発表のための機材：パソコンによるディスプレイ（PowerPoint）装置が使用可能です。その他の機材をご要望の場合には、研究委員長の吉田までお問い合わせください。

E-mail : yyoshida@slis.tsukuba.ac.jp

(7) 優秀発表賞：研究委員会における審査において、研究内容・発表技法という観点から優れた発表を行なったと判断された登壇発表者を対象として優秀発表賞を授与いたします。優秀発表賞については、学会ウェブサイト並びに学会誌に掲載される研究大会・春季研究集会概要において公表いたします。

#### ■研究大会・春季研究集会における発表のルールについて

研究大会および春季研究集会は次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認のうえ、発表申込をしてください。

(1) 個人会員（正会員・学生会員）は研究大会および春季研究集会において同様に発表の権利をもつ。

(2) 研究発表は他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。

(3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において個人発表および共同発表の筆頭発表者となることは、合わせて 1 回を原則とする。

(4) 共同研究の筆頭発表者は個人会員でなければならない。

(5) 発表論文の原稿は、発表内容を論文の形式で記述するものとする。

(6) 発表申請受理後のプログラム（発表タイトル、発表者、発表内容、発表スケジュール）の変更は原則として認めない。

(7) 発表申込、発表論文作成、発表、発表後の抄録提出は同一言語で行うこととする。その際の言語は、日本語もしくは英語で行うものとする。

#### ■発表者への諸注意

(1) 発表会場へは遅くとも、セッションの始まる 10 分前には到着するようにしてください。

(2) 会場の備え付けの発表用 PC に発表用ファイルをコピーしてください。また、セッションを円滑に進行するため、発表者は会場前方に着席してください。

(3) 本学会発表では、原則として会場に備え付けの PC での発表としています。持ち込み PC の利用が必要となる場合は、発表申込申請フォームの備考欄に＜PC のつなぎかえの希望＞について、必ず明記して下さい。事前申請を行わなかった場合、他の発表者の不利益になる可能性があるため、持ち込み PC のつなぎかえはできません。

## 2016 年度 研究助成の決定

2016 年度の研究助成について 1 件の応募があり、研究委員会にて審議いたしました。

審査は、例年の手順・方法を踏襲し、予め評価基準を定めた基準に従って研究委員が採点した結果を

総合して、助成対象を決定することにしました。評価は、申請者が特定されないよう、氏名等個人が特定される情報を伏せて、申請者名を知りうる立場にある研究委員を外して行いました。評価基準は科学研究費に準拠して、(1) 研究目的の明確さ、(2) 研究の独創性、(3) 遂行可能性、(4) 成果の公表可能性、(5) 申請金額の妥当性、(6) 研究組織の適切性、の6点について、議論の結果、下記の1件を助成対象としました。(研究委員会)

研究代表者：カレイラ松崎順子（東京経済大学）  
研究題目：ソウル市の「こども英語図書館」の現状調査  
助成額：220,000円

## 報告事項

### 役員選挙における電子投票システム担当者

通信総会において、電子投票システムの管理運営を担当している江藤正己氏（学習院女子大学）が、役員選挙の電子投票システム担当者を務めることになりました。

### 『会報』（冊子版）No.161 の訂正

学会賞・論文賞・奨励賞候補の推薦募集の記事中に以下の誤りがありました。お詫びして、訂正いたします。なお、メール配信版とウェブサイトのアーカイブ版は、修正済みとなっております。

#### 1. 賞の種類

	(誤)		(正)
(2) 日本図書館情報学会論文賞	副賞 10 万円	→	副賞 5 万円
(3) 日本図書館情報学会奨励賞	副賞 10 万円	→	副賞 5 万円

## 役員会等の記録

### 2016 年度第 1 回常任理事会（開催記録）

日時：2016 年 4 月 17 日（日）13：00～17：50

場所：明治大学駿河台キャンパス 小模擬授業室

出席者（敬称略）：小田，倉田，吉田，安形，松林，三浦，石田，青柳

欠席者：なし

議事内容：

1. 第 1 回理事会の議題整理
2. 今年度の事業計画に関わる重要事項についての検討
3. 2015 年度事業報告
4. 2015 年度決算報告
5. 2016 年度事業案
6. 2016 年度予算案
7. 規程・内規等の制定・改正

## 2016年度第1回理事会（議事抄録）

日時：2016年5月14日（土）13：00～15：30

場所：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー 19階 共同実習室2

出席者（敬称略）：小田，倉田，安形，石田，三浦，松林，吉田，植松，古賀，岸田，酒井，須永，竹内，菓袋，青柳

欠席者（敬称略）：池谷，糸賀，影浦，大谷，齋藤，田窪，（以上，議決委任），呑海，三輪監事

列席：渡辺監事

議事内容：

<報告事項>

### 1. 規程・内規の整備状況

小田会長から、各種の規程・内規が整っていなかったことに起因する前期の諸問題を解決できたこと、防止策として、引き続き、規程・内規の整備を進めていくことの報告があった。

### 2. 文部科学省「学校図書館の整備充実に関する調査研究協力者会議」（2015年度第3回会議，2016年1月31日）のヒアリング要請への対応

小田会長から、第3回の協力者会議において、学会として学校図書館の整備を進めるための方策，ならびに学校司書養成の課題について意見を求められ，これに応じた旨，報告があった。

### 3. その他

小田会長から、名誉会員の岩猿敏生氏のご逝去されたこと，弔意内規に基づき対応したこと，熊本地震のお見舞い文を学会HPに掲載したことの報告があった。2016年度第1回常任理事会議事録の確認の依頼があった。青柳事務局長から，2015年度末現在の会員・会費状況の報告があった。

<協議事項>

### 1. 2015年度事業報告

小田会長から，資料に基づいて2015年度の事業報告の説明があり，審議を行なった。一部の項目に修正を加えた上で，これを承認した。

### 2. 2015年度決算報告・会計監査報告

青柳事務局長から，資料に基づいて2015年度の決算報告の説明があり，審議を行なった。渡辺監事から，会計監査に関して，証憑の整理，帳簿の記帳などの会計処理が適正に行われていた旨の報告があった。その際，今後の支出費目の計上のしかたについて指摘があった。いくつかの質疑の後，これを承認した。

### 3. 2016年度事業計画案

小田会長から，資料に基づいて2016年度事業計画案の説明があり，審議を行なった。「わかる！図書館情報学」シリーズについて，吉田研究委員長が補足説明を行なった。一部の項目に修正を加えた上で，原案を承認した。

#### 4. 2016 年度予算案

青柳事務局長から、資料に基づく説明があり、審議を行なった。研究集会の開催校から得られる支援金、繰越金の状況について質問と意見が出され、小田会長が状況説明を行なった。一部の項目に修正を加えた上で、これを承認した。

#### 5. 規程の制定・改正（案）、内規の制定

倉田副会長から、資料に基づき、現在の規程・内規の整備状況の説明があった。また、日本図書館情報学会選挙管理運営規程改正（案）、選挙管理運営内規（案）について、説明と審議の後、一部の条文に修正を加えた上で、これを承認した。日本図書館情報学会選挙管理運営規程改正（案）に関しては、本年6月の定例（通信）総会の議案とすることを確認した。

#### 6. 学会活動貢献賞の位置づけの見直し

小田会長から、従来の表彰という形態ではなく、感謝の意を表するという位置づけに変更すること、「表彰状」ではなく「感謝状」の贈呈を行うこと、あわせて賞金の授与を廃止することの説明があり、これを承認した。

#### 7. その他

吉田研究委員長から、ポスター発表について春季研究集会でアンケートを実施すること、石田担当理事から、図書館情報学教育に資するWGを設置すること、三浦編集委員長から、学会誌の投稿状況等について、小田会長から、マスコミからの取材依頼状況について、それぞれ説明と報告があった。

### 委員会・事務局より

#### 『日本図書館情報学会誌』投稿募集

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下のとおりです。投稿は随時、受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」と「執筆要綱」をご参照ください。 (編集委員会)

- ・ 投稿先：日本図書館情報学会編集委員会 (journal@jslis.jp)
- ・ 『日本図書館情報学会誌』投稿規程 2013年8月31日改訂  
[http://www.jslis.jp/journal/c\\_reg\\_130831.pdf](http://www.jslis.jp/journal/c_reg_130831.pdf)
- ・ 『日本図書館情報学会誌』執筆要綱 2012年4月30日改訂  
[http://www.jslis.jp/journal/w\\_out\\_120430.pdf](http://www.jslis.jp/journal/w_out_120430.pdf)

#### 視覚障害者への学会誌 PDF 版の提供について

視覚障害者の会員の方に『日本図書館情報学会誌』の PDF 版データを提供いたします。ご希望の方は、事務局 (office@jslis.jp) までメールでご連絡ください。お心当たりの方は、対象となる会員の方にお声かけいただければ幸いです。事務局より、障碍の程度をお伺いした上で、提供いたします。

(編集委員会)

#### メールマガジンについて

総務委員会ではメールマガジンを随時、発行しています。掲載・講読希望の方は、総務委員会まで電子メール (somu@jslis.jp) にてご連絡ください。なお、掲載を希望する方は、PDF の添付ではなく

メール本文に掲載内容を記してお送りください。

(総務委員会)

#### 2016年度の会費納入のお願い

2016年度の会費を未納の方はすみやかに納入してください。2015年度までの会費を未納の場合は、2016年度と合わせてできるだけ早く納入してください。なお、会費を3年滞納した会員(学生会員は2年)については、その年度末(3月31日)に会員資格停止の手続きを行います。次年度から会員としての権利を失いますのでご注意ください。

また、学生会員で2016年4月から就職された方については、すみやかに会員種別の変更手続きを行なってください。会費の金額が2,000円から5,000円に変わります。適正な会費をお支払いいただきますようお願いいたします。 (事務局)

#### 【振り込み先】

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

#### 会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス、会員種別等の変更については、学会ウェブサイトの「会員情報変更」のページ ([http://www.jslis.jp/membership\\_3.html](http://www.jslis.jp/membership_3.html)) から、ウェブフォームを使用するか、あるいは、「会員情報変更申請書」にご記入いただき、事務局 (office@jslis.jp) までメールでお送りください。郵送の場合は(事務局業務に関する問合せ先)の住所にお送りください。

なお、退会については特に書式はありませんので、電子メールにて、退会理由を併記のうえ、事務局 (office@jslis.jp) までご連絡ください。郵送の場合は(事務局業務に関する問合せ先)の住所にお送りください。 (事務局)

## 学会受領資料

紙幅の都合により、図書のみ記載しております。(編著者名の五十音順)

- ・内野 安彦 著『図書館はまちのたからもの：ひとが育てる図書館』(図書館サポートフォーラムシリーズ) 日外アソシエーツ, 2016
- ・小黒 浩司 著『図書館をめぐる日中の近代：友好と対立のはざままで』青弓社, 2016
- ・鹿島 みづき 著『パスファインダー作成法：主題アクセスツールの理念と応用』樹村房, 2016
- ・高山 正也 著『歴史に見る日本の図書館：知の精華の受容と伝承』勁草書房, 2016
- ・Midori Kanazawa ed. *Information Literacy Education in Japanese Libraries for Lifelong Learning*. Nova Science Pub Inc. 2016

会員の皆さまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局(明治大学司書課程・司書教諭課程室宛)まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

(事務局)